


登録番号	第 00110 号		
登録年月日	平成24年9月11日	登録区分	第一種

名称 (型式等)	分散形計装制御システム「CENTUM」
所在地	非公開
所有者 (管理者)	横河電機株式会社
製作者(社)	横河電機株式会社
製作年	1979年
選定理由	<p>プロセス制御システムは石油化学工業、鉄鋼、製紙、LNGプラントなどの製造工程において各設備に配置されたセンサにより流量、温度、液位などを読み取りそれらを最適値にするようにバルブの開閉などの制御に使われる。</p> <p>プラントでは各設備が工場内に広域に分散し、日常の操業や設備保全もプロセス単位ごとに管理されるので、機能分散、地域分散、危険分散などの観点から分散システムの必要性があった。マイクロプロセッサや通信技術の向上により横河電機は世界に先駆けて1975年に分散形制御システムを世に出した。</p> <p>この分散制御システムは中央のオペレーターズコンソール(OPC)と各設備に配置されたフィールド・コントロール・ステーション(FCS)により構成される。オペレーターはOPCによってプラントの監視操作を中央で一括して実施できる。OPCは従来の計装パネルからキーボードとCRTによるコンソールに変化したが、従来のフェースプレートの操作性が忠実にCRT上を実現されている。</p> <p>分散制御システムの出現により連続制御とシーケンス制御の融合が容易になり、操業の高度化に貢献し、世界の計装システムが分散システムに移行した。世界初の分散制御システムの初期品が残されており重要である。</p>
登録基準	一 一 口

公開・非公開	非公開
写 真	 <p style="text-align: center;">左:OPC 右:FCS</p>
その他参考となるべき事項	